

ワクティブ通信

第15号
2024.4

今月の表紙 丹羽 典子さん（NPO法人にわたりの会代表）

NPO法人にわたりの会は、日本語指導が必要な外国人児童生徒対象のオリジナル学習教材・カリキュラムを開発し、学習支援の輪を広げていく活動を続けている団体です。2011年活動開始、2013年法人化。

一年に一人困っている子を助けたら 世の中のためになる

小学校の教員時代に困っている子を見逃さないことを使命としていました。ここ数年は外国人の子どもが困っているのを目の当たりにしています。水着が買えないから水泳の時間は欠席する、言葉がわからないことで体調不良になるなど。また外国人児童担当になった時には教材がないことにも直面しました。

「にわとり式漢字カード・ドリル」 の制作に取り組む

2011年に団体を立ち上げ、まずフィリピン語と中国語対応のテキストを制作しました。その後「にわとり式音の出る漢字カード・ドリル」の制作を始め、現在10か国語に対応しています。2013年に法人化し、寄付金や助成金で漢字カードが必要な人には無料で届けています。また制作会社の協力を得て、今では教材をアプリでも提供しています。



ふらみな教室の様子



アプリ教材



中学生用の教材

高校に入学し卒業してくれることが願い

ある日ふらっとみなみのフリースペースで始めた教室に中学生が昼間の高校に入りたいとやってきました。それから週1回の教室を週3回に増やしました。全員が高校へ入学し、卒業してくれることが願いです（※中途退学者は日本人の4倍ほど）。15歳で世の中に出るのは大変。もっと日本語を勉強してから社会に出てほしいです。

日本を選んで来ている人たちに幸せになってほしい

今の問題点は、教室に通いたいが通う手段がない子がいること。現在はふらっとみなみに10人前後、桃花台教室に30人前後が通っていますが、拠点を増やすか車を出すか…難しい課題です。しかし初志貫徹で外国人が日本語を学ぶための使いやすい教材を開発していきたい！日本を選んで来ている人たちが幸せになるための手伝いになるように活動していきたいと思っています。

- 教室開催日時
- ・ふらみな教室 毎週月・水・金曜日17時～19時
- ・桃花台教室 毎週土曜日16時～18時
- 子どもに日本語を教えるボランティアや寄付などで応援してくださる方も募集しています。



令和6年度助成金のお知らせ

■地域に還元チャレンジ助成金

市民活動団体の活動のみならず、生涯学習や趣味的な活動を行う団体がこれまで培ってきた“学びの成果を地域に還元”する活動まで助成対象を広げることにより、生涯学習や趣味的な活動から公益活動への展開を促すとともに、生きがいづくりと支え合いの地域づくりを促進することを目的とした支援制度です。

助成金額	回数	補助率	対象経費
5万円（上限）	1団体につき2回まで	100%	活動準備、運営、具体的な活動に要する費用

■市民活動助成金

現在行っている活動を活性化するための取組みをしたい団体への助成（団体助成）や他の団体と協力して取り組む事業などへの助成（事業助成）を行っています。

部門	助成金額	回数	補助率	対象
団体助成 （ひろげる部門）	10万円 （上限）	1団体につき 3回まで	1回目：80% 2回目：70% 3回目：60%	市内で活動を継続し、団体の強化や会員の拡大、活動の活性化を目指す団体に補助
事業助成 （つなげる部門）	20万円 （上限）	1事業につき 3回まで	1回目：80% 2回目：70% 3回目：60%	登録団体が実施するまたは登録団体と他組織（団体、企業など）が協働して実施する先駆性・創造性がある新たな事業経費を補助

【応募資格】小牧市市民活動推進条例に基づく「市民活動団体」として登録していること。

【受付期間】5月1日（水）（必着）までに、ワクティブこまきに提出してください。

※必ず事前にご相談ください。

※詳しくは、支え合い協働推進課、ワクティブこまき、市民センター等に設置してある募集要領をご覧ください。（市・ワクティブこまきのホームページにも掲載しています）



まちづくりはじめて講座「こまき未来ビルダーズ」を開催しました！

こんなまちになってほしい。まちづくりに関わってみたい。そんな思いを持った方たちの第一歩を応援する講座「こまき未来ビルダーズ」を今年も開催しました。※参加者：9名

1日目：令和5年12月17日(日)

「地域子ども食堂∞無限堂∞」代表の上田さんからどんなふうにプロジェクトを立ち上げたのかを学びました。また、ワークシートを使って自分の「気になる・やりたいテーマ」を深掘りしました。

2日目：令和6年1月14日(日)

林加奈さんを講師に、プロジェクトを実施する上で考えておきたい「目的」「対象者」「対象者がどうなってほしいか」などをワークシートを使って考えました。

3日目：令和6年2月4日(日)

こまき未来ビルダーズのOB・OGや、すでにプロジェクトを行っている方にサポーターとしてお越しいただき、それぞれのプロジェクトのアドバイスをもらいました。



参加者とサポーターの皆さん

☆終了後も、各々自分のプロジェクトを実践したり、そのための準備を頑張っています。

実践しました！

3月24日(日)中央図書館イベントの中で、参加者の藤澤さんが「哲学対話」のプロジェクトをデモンストレーション形式で実施しました。「安心はどこから来るの？」というテーマについて、7人で対話を行い、「子ども・若者が自分の意見を否定されずに言える場をつくる」という目的や、哲学対話の意義を知ってもらうことができました。

令和7年度に実施する協働提案事業を募集します

市民（市民活動団体）と行政が、協働で取り組むべき地域課題等を提案し、解決に向けて協働で事業を実施しています。提案事業のタイプは、行政が事業の協働相手を募集する行政提案型「はばたき」と、市民（市民活動団体）が行政との協働事業を提案する市民提案型「きらめき」があります。



【応募資格】

- ① 小牧市市民活動推進条例に基づく「市民活動団体」として登録していること。
- ② 「まちを育む 市民と行政の協働ルールブック」に定める事項を理解し、活動できること。
- ③ 原則として団体としての活動実績が1年以上ある団体
- ④ 提案事業の契約を有効に締結できる団体

【受付期間】 5月24日（金）（必着）までに、支え合い協働推進課（市役所本庁舎3階）またはワクティブこまきに、提出してください。

※必ず事前にご相談ください。

※詳しくは、支え合い協働推進課、ワクティブこまき、市民センター等に設置してある募集要項をご覧ください。（市・ワクティブこまきのホームページにも掲載しています）

■行政提案型『はばたき』

No.	提案事業名	提案課	事業概要
1	救命講習指導協力事業	消防署 (76-0276)	応急手当（AEDの使用と心肺蘇生）を市民に普及させるため、消防署は例年150回程度の救命講習を開催しているが、その都度講習の指導者を確保することに苦慮している。 市民活動団体に指導者として参加協力していただくことによって、受講者の希望日時に講習を開催することができ、応急手当を身に付けた市民を増やすことで救命率の向上を期待するもの。
2	貸出し用草刈機の整備 (消防本部)	消防総務課 (76-0229)	小牧市では市内の空き地に繁茂した雑草を除去される方に草刈機の無償貸出しを行っており、貸し出した草刈機の返却後の整備について、機器の取り扱いに精通した市民活動団体に実施して頂くもの。
3	貸出し用草刈り機の整備 (消防署 東支署)	消防総務課 (76-0229)	小牧市では市内の空き地に繁茂した雑草を除去される方に草刈機の無償貸出しを行っており、貸し出した草刈機の返却後の整備について、機器の取り扱いに精通した市民活動団体に実施して頂くもの。
4	市民参加による広報作成事業	広報広聴課 (76-1101)	市民が「手に取りたい」「読みたい」と思えるような表紙を作成する。 また、市民が「広報こまき」のレポーターとして企画・取材・原稿作成を行うことで、市民感覚で情報を発信し、市民にとってより「身近」で魅力ある記事を掲載する。 さらに、広報こまきのPR動画を作成し、市のアカウントで配信する。
5	生ごみを使ったEMほかし作り講座の実施	リサイクルプラザ (78-3631)	家庭から出る可燃ごみは、大半が生ごみ等の家庭台所から出るものであることから、家庭の台所から出る生ごみの自家処理を推進することを目的として、生ごみ処理機やコンポスト等の購入費の一部を補助しごみの減量対策を実施している。 生ごみをもとにEM菌を使ったほかし（油かすや米ぬかなど有機肥料に、EM菌を混ぜ、発酵させて作る肥料）作り講座を実施し、家庭から出る生ごみを基に環境サイクルを回し、環境負荷の低減を目指すもの。

■市民提案型『きらめき』

市民活動団体から提案する地域や社会での課題の解決や、地域の活性化につながる協働事業を募集します。

テーマ別意見交換会を開催しました！

令和6年1月26日（金）、今年度もテーマに関連のある団体と行政職員との意見交換の場「市民と行政のテーマ別意見交換会」を市役所東庁舎5階大会議室で開催しました。

今年のテーマは以下の通り

- 外国にルーツのある方が地域と交流を持てるようになるためには
- 赤ちゃん訪問を充実させていくには
- デジタルを活用することにより障がい者の方の生活の質を向上させるには



意見交換の様子

参加者からは「違う立場の人の話を聞くことができ今後の進め方の参考になった」と意見をいただき、今後のまちづくりに活かしていただけそうです。



団体向け講座「団体のビジョン・ミッション（理念）を言葉にしよう！」を開催しました！

令和6年3月10日（日）

理念は活動の核になるもの。具体的な活動を推進するとき、仲間を集めるとき、そして様々な人や組織と連携するときにもとても大切なものです。

講師にNPO法人起業支援ネット代表理事の久野美奈子氏をお迎えし、これから活動を始めようとしている方や、理念を団体内で浸透させたいと思っている方たちと一緒に理念の作り方を学びました。前半は、理念とは何か？なぜ理念が必要かなどについて学び、後半ではそれぞれ実際に自分の団体の理念をつくってみました。

◆理念とは？

- ・何を目指しているのか（目的）（どんな社会・未来・地域をつくりたいのか）
- ・どんな価値を提供するのか（提供価値）
- ・どんな思い・姿勢を大切にするのか（志）

◆なぜ理念が必要なの？

事業や活動における様々な判断の拠り所にするため。

講座では理念がない状態での話し合いと、理念がある場合とを体験しました！

◆理念をつくるには？ ※講座ではワークシートを使用

①以下のテーマについて、「～でありたい」「～を成し遂げたい」などの形で自分（メンバー）の思いを出せるだけ書き出します。

- ・事業（活動・働き・仕事）を通じて最終的に何を成し遂げたいか。
- ・何のための事業でありたいか。
- ・事業を通じて最終的にどんな地域・社会を創りたいか。

②たくさん書き出した文章をグルーピングして、グループごとに統合する文章をつくります。

③それらの文章の意味を絵や図などに書き表してみます。

④グループごとに統合した文章をさらに1つの統合する文章にまとめます。

《参加者の声》

- ・個人の思いを事業理念へ発展させる方法がとてもわかりやすかったです。
- ・仕事だけでなく、人生における理念も大切だと思いました。

☆ 講座の内容をもっと詳しく知りたい！理念をつくってみたい！という方は、ワクティブこまきまでお問い合わせください。



講座の様子



小牧市の市民活動に関することは ワクティブこまきへご相談ください！

活動する団体を探したい 助成金を探している 活動の困りごとを相談したい 活動する場所を探している

何でも気軽にどうぞ!!

こまき市民交流テラス



こまき市民交流テラス ワクティブこまき 〒485-0041 小牧3-555 ラピオ2階
 ☎：0568-48-6555 FAX：0568-48-6556 ✉：wactive-komaki@grace.ocn.ne.jp
 開館日：月～土/10時～21時 日/10時～17時30分
 休館日：第3火曜日とその前日の月曜日（月曜日が休日の場合は営業、水曜日が休館）